

夕光

ゆうかげ

伊豆高原十字の園 機関誌

No. 115



特集

ユニットケア最前線(4) ～社会福祉法人十字の園 理事長 平井 章～

良い思い出を贈る ～日本キリスト教団伊東教会牧師 内田 知～

家庭の暮らしを目指して ～ユニットケア奮闘記～ <全10ユニットの近況>

デイサービス便り 食中毒予防～3つの決まり～

新職員を紹介します

<表紙の写真>

6/5 芝生広場にて

ドッグセラピーを開催しました。

ユニットケア最前線④



社会福祉法人十字の園
理事長 平井 章

浜松十字の園の職員研修会であるグループが発表した言葉です。

「こんな気持ちわかってください」

住み慣れた場所とは程遠い場所知っている顔のない所での生活。「ここが部屋ですよ」と言うのに私以外の人が寝ている。

目的がなく歩き回っているように見えるかも知れませんが。違うのです。ただ自分の居場所がなく、自分がどこにいるか分からないのです。

ただ不安で不安で、イライラしてしまうことがあるのです。どこかに行きたくてもその術がわからず、人間関係もうまくいきません。

ご飯を食べたくない日もあるし、眠れない日もある。自分の前にある物が気になって、手に取って見たくなくなるときもある。上手く歩けなくても、車椅子でも、少し動きたいときもある。そんな時は、じっとそばで見えていて欲しい。決して大きな声で「何やっていの！」

とか「だめ〜！」とか、私の気持ちも知らないで言わないで下さい。私にも青春時代があり、輝いていた時がありました。私の自信や自慢につながるような努力や苦労がありました。

そんな時代があったことも知らず、今の私だけを見ないで下さい。

家族が面会に来て名前を忘れてしまったり、顔が分からなかったりする時があります。そんな時は、そっと耳元で名前を教えてください。忘れてしまっていることを知っているのに、「この方どなた？」などと意地悪するのは止めてください。

どうかお願いします。私の歩んできた道、性格、趣味、病气、症状、いろんな事、いろいろな私を理解して下さい。「こうして欲しい」とお願いすることを、ワガママと思わないで下さい。私は、買い物も一人でできないのですから。

医療スタッフ・ケアスタッフ・家族、私を支えてくれる人たちが、同じ意識で、同じ方向を向いてケアしてくれると、とても幸せです。幸せと感したら徘徊も妄想も幻覚も不安も、みんな消えて、イライラすることもなくなり、皆さんを困らせることが少なくなるかもしれません。ただ忘れないで下さい。私も同じ人間です！

「良い思い出を贈る」



社会福祉法人十字の園 評議員
日本キリスト教団 伊東教会牧師

内田 知

哲学者の今道友信さんがフランスから日本に帰る前、恩師マルセルにこう問われたそうです。「人生にはいろいろな大事なことがあるが、人が人にしてあげられる最もよいことは何だと思いか？」彼が考え込んでいると、恩師はこう語ったそうです。「それはよい思い出をあげることだ。」

ご高齢の方々は人生の最終章を送っておられます。終わりよければ全てよしというわけではありませんが、人生にはオセロのような一面もあるのではないのでしょうか。「最後の最後でこれまでの全てがひっくり返る」そんな単純なことではないかも知れませんが、そういう一面もあると思います。

十字の園の働きも、「人が人にしてあげられる最もよいことは何か？」と問い続け、「一つでも良い思い出を贈る」ということをいつも忘れずに進められていけば、何と素晴らしいことでしょう。

「良い思い出」それは認知症のために記憶には残らないかもしれませんが。しかしそれはその人の心・魂に必ず刻まれるはず。何よりも神さまのもとで必ず記録されています。

十字の園の働きの中でその人の心や魂に引き出しを残す。このこともいつも心に留めて働くことが出来れば、何と素敵なことでしょう。

これからも、そのような働きがずっと続けられていきますように。

家庭の暮らしを目指して

～ユニットケア奮闘記～

施設が移転し、早いもので、1年が経ちました。そこで今回は・・・全10ユニットの様子をお伝えしま



施設移転から1年が経過しました。それぞれのユニットが、リーダーを中心とし、試行錯誤しながら、時には笑い、時には泣き、そして悩み、この1年入居者の笑顔を支えに頑張ってきたと思います。そのような中で、天寿を全うされた入居者も数人いらっしゃいます。生活支援室では、その方の生活を、人生の終焉まで、関わりを持たせて頂こうと思っています。ある看取りとなられた入居者のご家族は、お部屋に泊まり、生活支援員と共に召天される時まで関わって下さり、私たちも、ご家族と共に居て下さるといふ安堵感がありました。

以前に比べますと、多くのご家族の面会があります。今後も、気軽に来園できる雰囲気づくりに心がけていきたいと思えます。そして、ご家族と共に、入居者のこれからの生活を支援できたらと願っています。

生活支援室主任 岡 信江

さざんかユニット



新施設になり1年が経過しました。1年間の中でショートユニットでは職員の入替わりもあり、新規利用者も増え、「新しい出会い」がたくさんあります。

現在はアットホームな雰囲気の中、毎日楽しく生活しています。

利用者の「こんにちわー来たよ」「ここが一番いいよ」「また来るね」の言葉に私たち職員はどんなに忙しく、大変な日でも元気をもらっています！

皆さん、「また来てくださいね」

中村小雪

すみれユニット



全ユニットの中で88歳と一番平均年齢は高いが、自立の方が多いユニットです。新施設に移転し1年が過ぎ、職員の入れ替わりはありましたが入居者の方々は馴染みのメンバーで、皆様お元気で買い物に出掛けたり、外食されたり、歌を唄われたり、時には口喧嘩してみたりと毎日過ごされています。

この1年、入居者とご家族とのちよつとしたドラマもありました(感動！)。

皆様「自分の居場所」を見つけて頂けたでしょうか？ご家族や、入居者との信頼関係を深め、「普通に生活する」「安心して生活出来る」事へのお手伝いをさせて頂きたいと思えます。

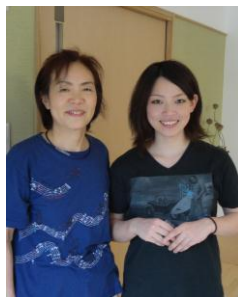
小林淳美

やんもユニット

あつと言う間の1年でしたが、色々な出来事がありました。出会いが有り別れが有り、楽しい事も悲しい事も、山有り谷あり、紆余曲折…。

これからも色々な出来事が有ると思いますが、一人一人の人生に寄り添い、一つでも多くの笑顔が見られる支援を心がけていきたいです。

菅野真由美



もくれんユニット

新施設に移って1年、入居者、職員共にあつという間の1年でした。住み慣れた旧施設から移住し、最初はリビングにいても落ち着かない様子の入居者でした。自分は、慣れない環境で新人でしたので、バタバタした所をお見せしてしまいました。今では、入居者と良いなじみの関係を築くことができています。入居者もここでの生活に慣れ、一日を自分の好きなように過ごしています。新出英一さんは趣味の俳句、井上ふじさんは、生け花の会で立派な花を生け、今野良子さんは、自由に隣のユニットへ遊びに行かれています。皆さんに、「ここで暮らせてよかった」と思われるよう今後も支援していきたいと思っています。

鈴木秀一



やまげんぐユニット

新施設に移転して早一年が過ぎました。入居者の入れ替わり、職員の入れ替わりも有りましたが、なじみの関係、そしてご家族との信頼関係が少しずつ築けてきたと思います。3月には入居者4人の合同誕生日会を行い、滝澤さんのマジックショーで花を添えて頂きました。これからも、少しでも皆さんが生き生きと暮らして行けるよう、また家庭的な環境を目指して支援をして行けるように。スタッフ一同日々努力をし入居者皆さんの日々の暮らしをより良いものにして行けるよう努力していきたいと思えます。

村上鈴子



けやきユニット

新施設へ移転してから1年がたちました。あつという間でしたが、その中にはたくさんのお出来事があり、一日として同じ日はありませんでした。

入居者の皆様も職員も、縁あって出会った人たちです。その縁を大切に、「けやき」という一家で愛にあふれた日々の生活をおくれる様、入居者皆様一人ひとりへの支援をしていきたいと思えます。

吉崎智美



ついでにユニット

趣味のお花が生きがいとなり、日課となった毎朝の体操、お昼には家族と外食に行き、かつて働いていた職場に出かけ、同僚と20年ぶりに再会・・・1年前には想像もしていませんでした。少しずつですが、普通の暮らしになってきたような気がします。

今まで見たことのない最高の笑顔、また見たくなるんですね。入居者も職員も、うぐいすの家族。感謝です。

岩本佑太



かもめユニット

昨年の4月、伊豆高原十字の園は新施設となり新たな歩みを始め、私は新職員として迎え入れて頂く事になりました。入居者の皆様から関わる事の楽しさや命の尊さを、先輩職員からは支援をする事の厳しさ、小さな変化にも気付ける感性を養う事を教えて頂きました。

私は入居者の皆様にとって息子や孫の様な存在で有りたいと思ひ、入居者と支援者の関係ではなく、共に生活をする生活者として些細のない事でも関わりを持ち、苦楽を共にして、一人ひとりが今日という日を穏やかに送って頂きたいと思ひながら過ごして来ました。

2年目を迎え、「普通に生活する」ことの意味について深く考え、笑顔と謙虚さを忘れずに伊豆高原十字の園で暮らす皆様とより良い生活の実現に向けて一歩一歩、前進していききたいです。

望月 浩



カケスユニット

新入職員としてユニットに配属されてからの1年間を振り返ると、試行錯誤と新たな発見の日々でした。

少数のユニットケアとなり、職員と入居者お一人おひとりとの関わりが増えていっていると思います。毎日のように顔を合わせて生活を共にしていく中で、職員と入居者様の間には少しずつ信頼や安心感が築かれてきたはずです。そんな密接な関わりから入居者様それぞれの性格やお香を把握していけるのだと感じました。様々な方がいらつしやるため、すべての希望を叶えることは難しいですが、ユニットの職員の中で相談しながら、なるべく楽しく生活して頂くため、支援していききたいです。何気ない一日を大切に、風光明媚なこの土地で四季を感じながら暮らして頂けたらと思います。

山下沙也加

メジロユニット

入職してこの一年間わからない事が沢山あり、自分はこの仕事が自分に向いているのかな？と思つた事が何度かありました。しかし、「私だつて思う事あるよ。みんな一度は通る道だよ。」と言ってくれる方々と、「ありがとう。御苦労さん。」と声をかけてくれる入居者がいてくれることで励みになりました。自分は、この仕事が自分に向いているのかな？と思うなら、この仕事に向いている人になろうと思えるようになりました。メジロはスタッフ、入居者が変わる事なく一年が経ちました。しかし、ちょうどこの時、メジロで初めて終末を迎える方がいました。スタッフ一人ひとり様々な気持ちがあり、苦痛の軽減や支援の上での矛盾と戦っていました。看取りケアを経験して反省していかないといけない事が沢山でき、大変いい勉強をさせて頂いたと、メジロスタッフ一同感謝しています。

大隅晃来

デイサービス便り

壁画「舞妓さんと五重塔」

No.12

利用者の皆さんと一緒に紙を丸め、台紙にボンドで貼りつけて壁画が完成しました。色っぽい舞妓さんに仕上がったでしょうか？

利用者の皆さん お疲れ様でした。



苗を植えました

今年も恒例の野菜作りが始まりました。いも類は、じゃがいも、里芋、さつまいもの3種類！！ それとナス、トマト、きゅうり、水菜・・・今年も沢山の収穫を楽しみに大切に育てていきたいと思えます。



おやつ作り

午後のレクリエーションの時間に、月に2回くらい利用者の皆さんと一緒におやつ作りをしています。今回はホットケーキを作りました。卵を割ったり、牛乳を加え混ぜたり、ホットプレートに生地を流したり、ひっくり返したり・・・生クリームやフルーツ等をトッピングして美味しくいただきました。



※デイサービスでは、手品や踊り、他にも変わった出し物をして下さるボランティアさんを募集しております。ご連絡、お待ちしております。 ☎05557-541630 青木まで

1

菌を付けない

- * 手や洗える食べ物は、しっかり洗いましょう
- * 肉、魚、卵を取り扱った後にはよく手を洗いましょう
- * 肉や魚を保存するときは、しっかりと包んで他の食品につかないようにしましょう

2

菌を増やさない

- * 生ものや料理は、なるべく早く食べましょう
- * 包丁、まな板、ふきんなどは使ったらすぐに洗い菌を増やさないようにしましょう
- * 冷凍、冷蔵しても菌が死ぬわけではないので早めに使い切りましょう

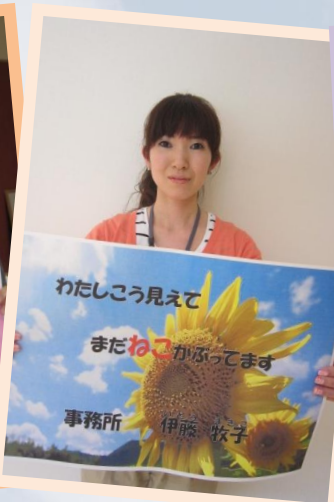
3

菌をやっつける

- * 料理をする時は、しっかり加熱しましょう（目安は中心部分が85℃で1分以上）
- * 温めなおすときも十分な加熱が必要です。
- * 食器や調理器具も熱湯などで消毒しましょう

食中毒予防のための3つの決まり

6月から9月の夏場は、食中毒が多い季節です。時には命にかかわる食中毒・・・。その20%は家庭で起きています。これからの季節、食中毒を防ぐために大切な3つの決まりを紹介します。

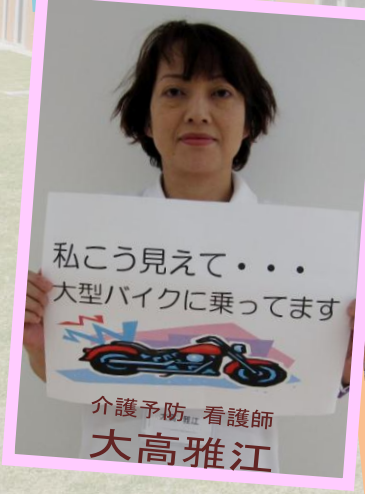


新職員紹介

私の自慢は
○○です！



こう見えて
実は...
○○なんです！



あゆみのあと

1月

- 1 ▽元旦礼拝
- 3 ▽理髪
- 5 ▽生け花 B
- 12 ▽森田屋
- 16 ▽生け花 A
- 18 ▽移動美容室
- 19 ▽おやつサークル
- 25 ▽防災訓練

2月

- 1 ▽生け花 B
- 9 ▽森田屋
- 11 ▽召天者を偲ぶ会
- 15 ▽移動美容室
- 16 ▽おやつサークル
- 20 ▽生け花 A
- 22 ▽防災訓練

3月

- 7 ▽生け花 B
- 8 ▽森田屋
- 9 ▽施設建築1年点検
- 10 ▽おやつサークル
- 19 ▽生け花 A
- 21 ▽移動美容室
- 28 ▽防災訓練
- 30 ▽居酒屋やすらぎ

4月

- 1 ▽開園記念日
- 4 ▽新年度職員全体会
- 8 ▽イースター
- 9 ▽13 新入職員研修
- 16 ▽生け花 A
- 18 ▽移動美容室
- 25 ▽防災訓練

5月

- 1 ▽生け花 B
- 8 ▽法人決算監査・理髪
- 10 ▽森田屋
- 17 ▽おやつサークル
- 21 ▽生け花 A
- 23 ▽防災訓練
- 30 ▽納涼祭委員会

6月

- 4 ▽生け花 B
- 5 ▽ドッグセラピー
- 10 ▽花の日
- 14 ▽森田屋
- 18 ▽職員健康診断・生け花 A
- 19 ▽職員健康診断
- 20 ▽移動美容室
- 25 ▽プランター農園集団
- 27 ▽防災訓練

たのしみたい

献金・献品者(芳名)

12月

伊豆聖マリヤ教会婦人会、
八千代台教会教会学校、豊
橋鷹丘キリスト教会、伊豆
八幡野教会教会学校、石田
朋子、村岡、蔵の宿ひなた

1月

馬場りう、宇佐美教会、岩
本教会、豊橋鷹丘キリスト
教会、東静岡ヤクルト販売

2月

小長谷百合子、小島容子、高
田和子、豊橋鷹丘キリスト教
会、東洋英和女学院中高部宗
教委員会

3月

坂田ハツ子、小川美代里、近
藤富子、豊橋鷹丘キリスト教
会、森安商店、伊東温泉旅館
ホテル協同組合、匿名1件

4月

豊橋鷹丘キリスト教会、志村
里子、ナガヤ(株)、高田薬品、
全労災静岡県本部、伊東温泉
旅館ホテル協同組合、株式会
社伊豆リネンサプライ

5月

村中文字子、桑山晃子、岩本教
会、斉藤千年、豊橋鷹丘キリ
スト教会 (敬称略)

皆様のご支援をお願い致します

郵便振替口座 00810-6-168180
ゆうちょ銀行 089店 当座 0168180
口座名義 伊豆高原十字の園

ご連絡いただければ、振替用紙をお送りいたします。

伊豆高原十字の園 ☎0557-54-1613

◆ 献金感謝 ◆

H23年12月～
H24年5月

計 26件 449,487円

ご協力くださいました
多くの方々のご厚意
に感謝しつつご報告いた
します。ありがとうございます。

感謝ボランティア

伊東教会婦人会、宇佐美教
会婦人会、のぞみの会、麦
の会、家族会、伊東市第六
地区民生委員児童委員協議
会、大室高原ボランティア
グループ、内田知(伊東教会)、
千代崎聖子(伊東キリスト教
会)、久保島泰・久保島理恵
(伊豆八幡野教会)、山口光仕
(川奈聖書教会)、畠澤かおり
(宇佐美教会)、浅野悦昭、
岡善実、郵便局局長婦人会
東部会、平和の杜、伊豆高
原ペンション協同組合
(順不同・敬称略)

苦情対応の状況

▽施設

0件

▽在宅

0件

〈苦情受付担当者〉

在宅・重永仁美(次長)

施設・小川秀幸

(主任生活相談員)

＜ お知らせ ＞

★清拭布寄付のお願い★

不要になった浴衣やタオル、
雑巾等がありましたら、生活相
談室の小川までご連絡下さい。

★納涼祭★

今年は秋に開催です！

日時：9月23日(日)

午後4時より

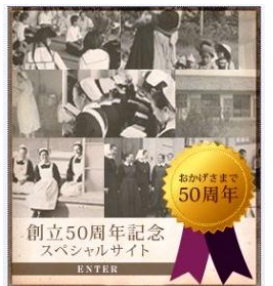
皆様、ぜひお越しください。

あとながき

雪の多かった冬を過ぎ…。移
転から一年の春を過ぎ…。暑い
夏がやってきます。去年の夏は
猛暑の中、『節電』『計画停電』
と、電気のありがたさを、痛感
した夏でしたね。今年の夏は昨
年以上に、電力不足が心配され
ています。そこで、『節電豆知
識!』です。テレビ画面を綺
麗に拭き、画面を明るくしてお
く。冷凍庫はギュウギュウに詰
めて入れる。テレビ、エアコン
の省エネボタンを押しておく
等、便利過ぎる生活をもう一度
見直し、出きる事から節電して
みませんか!!

URL: <http://www.jyuji.or.jp>

E-mail: zujuuji@younet.ne.jp



十字の園 検索
<http://www.jyuji.or.jp>

